

ラウンドアバウト試行運用の結果

1. 試行運用の実施概要

- 三重県は、県内でのラウンドアバウトの導入に向け、仮設材などを用いて試行運用を実施し、その効果の検証を行う。
- 場所は、伊賀市役所本庁舎前の交差点。
- 期間は、平成31年3月4日（月）から6月1日（土）まで（90日間終日）。

2. 試行運用前（無信号交差点）の課題

①安全性に関する課題

- 当該交差点は、平成27年1月～平成29年12月の3年間に、**車両出会い頭事故9件発生、内6件は人身事故**。
- 南北方向はほぼ直線であり、**通過速度が40km/h～60km/h**と比較的速く、事故発生リスクが高かった。

②円滑性に関する課題

- 南北方向の通過速度が40km/h～60km/hと比較的速く、**東西方向の車両は南北方向交通の合間を縫っての進入及び横断**となってしまう。

3. 試行運用による効果

①南北方向交通の速度の低減・・・安全性向上

- 南北方向交通の速度は、40km/h～60km/hであったものが15km/h～20km/hに低減され、運用前に課題としていた**安全性が向上**。
- 試行運用直後、南→北方向の流入部は中央島が東側に偏心している影響で、**環道に減速しないで流入する車両が多かった**ことを受け、中央島を長円にして流入車両から中央島が見える形態に改善したところ、**減速する車両が増加**。



②東西方向交通の交差点通過時間の短縮・・・円滑性向上

- 運用前は南北方向交通の合間を縫っての通行であったが、ラウンドアバウトにより**通過時間が短縮され、円滑性が向上**。
- 出会い頭事故リスクが低減し、円滑性に加え**安全性も向上**。

4. 試行運用としての課題

①中心位置の偏心

- ・道路用地内での試行運用としたことから、ラウンドアバウト中心が交差点中心から東側に偏心しているため、北→南方向に比べて南→北方向の速度抑制が十分ではなかった。これに対しては、本格導入時に中心位置を正規の位置に変更し適切なラウンドアバウト形状で運用することで解決される。

②大型車の通行制限

- ・道路用地内での試行運用としたことから、セミトレーラ等の大型車の通行制限を設けているが、本格導入の検討にあたっては、今後の周辺開発及び企業誘致を考慮した設計車両を設定し本格運用を図ることが望まれる。

5. アンケート調査結果からの考察

①本格導入の推進

- ・当該交差点について、現在の試行運用の形状から「円を大きくする」等の改良を望む声が多かった。これに対しては、本格導入時に対応可能である。
- ・三重県内における今後の展開について、交差点利用者の約8割は、今後ラウンドアバウトを整備していくことに賛成であった。

②通行ルールの啓蒙活動

- ・「通行ルールがわからない」という回答が多数出ているため、今後は住民説明会・公安委員会による講習などにより啓蒙活動を実施して行くことが必要。

※アンケート調査の集計結果は、次頁以降のとおり。

• アンケート調査の集計結果

1) 調査方法

調査は、次頁のアンケート用紙により、下表のとおり実施した。

調査方法	調査箇所・調査対象	調査実施日	回答数
①現地聞き取り調査	県伊賀庁舎正面玄関前、 伊賀市役所正面玄関前	2019年5月8日	175
②アンケート調査	県伊賀庁舎、伊賀市役所 (アンケート用紙と投函箱を設置)	2019年4月1日 ~2019年6月1日	47
	地元自治会等 (アンケート用紙配布)	2019年4月25日 ~2019年5月14日	30
			合計：252

2) 集計方法

集計に際しては、交差点の利用頻度ごと（下表の区分）で集計した。

表 (1)伊賀市役所前交差点の通行頻度はどれくらいですか？（市役所開庁後）の集計結果

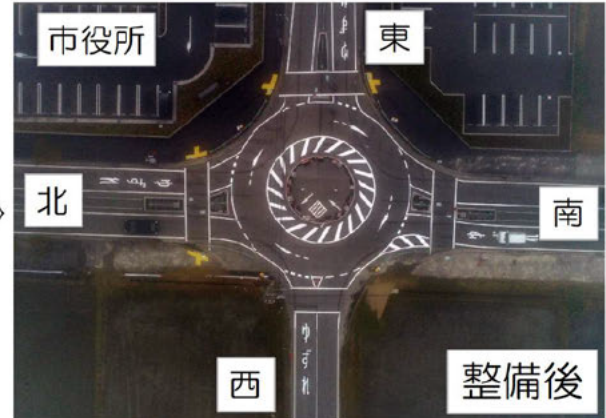
単位：人

利用頻度が高い			利用頻度が低い	
ほとんど毎日	平日のみ	週2~3回	月2~3回	ほとんど利用しない
28	13	51	67	84
92			151	

合計：243名（未回答9名）

～ラウンドアバウトに関するアンケート～

このアンケートは、2019年3月4日～6月1日にかけて実施している「ラウンドアバウト試行運用」について、通行の利便性や交通安全の観点から、皆様のご意見をお聞きすることを目的としています。お忙しいところ誠に恐縮ですが、ご協力のほどよろしくお願いいたします。



2019年 月 日 ()

(1) 伊賀市役所前交差点の通行頻度はどれくらいですか？

1) 市役所開庁前

1. ほとんど毎日 2. 平日のみ 3. 週2～3回 4. 月2～3回 5. ほとんど利用しない

2) 市役所開庁後 **利用頻度が高い**

利用頻度が低い

1. ほとんど毎日 2. 平日のみ 3. 週2～3回 4. 月2～3回 5. ほとんど利用しない

(2) 本日はどの方法でお越しになりましたか？

1. 自動車 (設問3-1へ)

2. 徒歩 (設問3-2へ)

3. 自転車 (設問3-3へ)

(3-1) (自動車の方) 東西からの進入のしやすさはどうになりましたか？

1. 進入しやすくなった

2. 変わらない

3. 進入しにくくなった

(3-2) (歩行者の方) 道路の渡りやすさはどうになりましたか？

1. 渡りやすくなった

2. 変わらない

3. 渡りにくくなった

(3-3) (自転車の方) 通行のしやすさはどうになりましたか？

1. 通行しやすくなった

2. 変わらない

3. 通行しにくくなった

(4) 交差点に入る車両の速度はどうになりましたか？

1. 速くなった

2. 変わらない

3. 遅くなった

(5) 交差点内での事故発生の可能性は低くなったと思いますか？

1. 低くなった

2. 変わらない

3. 高くなった

(6) この交差点について、今後どうしたら良いと思いますか (複数回答)

1. 円を大きくする

2. 円の中心がずれているので交差点の真ん中にする

3. 乗用車がどこを走るのかわかりやすくする

4. その他 ()

(7) 三重県内において、今後ラウンドアバウトの整備についてどう考えますか？

1. 積極的に整備した方が良い

2. 様子を見ながら整備する

3. しない方が良い

(8) 自由回答

ご協力ありがとうございました。
(三重県県土整備部)

3) 集計結果 (自動車による利用者抜粋)

質問項目	利用頻度が高い回答者 (ほとんど毎日、平日のみ、週2~3回)	利用頻度が低い回答者 (月2~3回、ほとんど利用しない)	結果と考察
3-1.(自動車の方)東西からの進入のしやすさはどうなりましたか?	<p>■ 進入しやすくなった n=24 ■ 変わらない n=30 ■ 進入しにくくなった n=34</p>	<p>■ 進入しやすくなった n=41 ■ 変わらない n=54 ■ 進入しにくくなった n=50</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 進入のしやすさは意見が均等に3分している • 進入しにくくなったと回答した人は、十字交差点では車が来ていないタイミングにスムーズに通行していたが、RABによりハンドル操作が増えたことで進入しにくくなったと感じていると想定される。
4.交差点内に入る車両の速度はどうなりましたか?	<p>■ 遅くなった n=76 ■ 変わらない n=9 ■ 速くなった n=7</p>	<p>■ 遅くなった n=110 ■ 変わらない n=29 ■ 速くなった n=9</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 約8割の回答者が速度は遅くなったと感じており、安全性が高まったと想定される。
5.交差点内での事故発生の可能性は低くなったと思いますか?	<p>■ 低くなった n=40 ■ 変わらない n=30 ■ 高くなった n=21</p>	<p>■ 低くなった n=64 ■ 変わらない n=55 ■ 高くなった n=28</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 「低くなった」と回答した人が約4割、「高くなった」と回答した人が約2割である。 • 交通事故の発生可能性が高くなったと回答した人の自由意見には、通行ルールが分からないと言った声が多く、RABへの理解がよりいっそう必要と考えられる。
6.この交差点について、今後どうしたら良いと思いますか? (「その他」の内容は自由回答に示す)	<p>■ 円を大きくする n=42 ■ 円の中心がずれているので交差点の真ん中にする n=23 ■ 乗用車がどこを走るのかわかりやすくする n=26 ■ その他</p>	<p>■ 円を大きくする n=49 ■ 円の中心がずれているので交差点の真ん中にする n=4 ■ 乗用車がどこを走るのかわかりやすくする n=61 ■ その他 n=66</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 「円を大きくする」「円の中心がずれているので交差点の真ん中にする」の回答が多いことは本格導入により解決されると推察される。 • 「乗用車がどこを走るのかわかりやすくする」と回答した人が、利用頻度が高い人は約2割、利用頻度が低い回答者は約3割いた。 ➢ 利用頻度が低い回答者は通行慣れしていないため、どこを走れば良いのか分からない人が多かったと想定される。
7.三重県内において、今後ラウンドアバウトの整備についてどう考えますか?	<p>■ 積極的に整備した方が良い n=22 ■ 様子を見ながら整備する n=48 ■ しない方が良い n=21</p>	<p>■ 積極的に整備した方が良い n=32 ■ 様子を見ながら整備する n=91 ■ しない方が良い n=25</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 約8割の回答者が、「積極的に整備した方が良い」「様子を見ながら整備する」と回答しており、今後ラウンドアバウトを整備していくことに賛成であった。
自由回答 ((6) と (8) の回答) ※複数回答あり	<p>このままでよい 3 よくなった、積極的に導入すべき 6 形状を改良して欲しい 19 通行ルールがわからない 13 周知徹底 3 標識、表示をわかりやすくする 4 市役所前交差点ではやるべきでない 8 慣れない、怖い、使いづらい 6 信号交差点・以前の交差点が良い 15</p> <p>【n=103】</p>	<p>このままでよい 9 よくなった、積極的に導入すべき 19 形状を改良して欲しい 21 通行ルールがわからない 31 周知徹底 4 標識、表示をわかりやすくする 13 市役所前交差点ではやるべきでない 4 慣れない、怖い、使いづらい 9 信号交差点・以前の交差点が良い 19</p> <p>【n=201】</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 「通行ルールが分からない」という回答は、利用頻度が低い回答者から多数出ているが、利用頻度が高い回答者からは少数であり、通行に慣れてきていると想定される。 • 自由回答では「形状を改良して欲しい」「通行ルールが分からない」などの、改良・周知を求める声が多数であった。